

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			D 建設・整備事業	
事務事業名 錦浜寺南町線		シート番号			19-47	
担当部署名 建設 局 道路 部 道路計画 課		評価責任者(課長名)			根兵	

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	6	まちの魅力向上と、賑わいと交流のまちづくりを進めます	後期実施計画の位置付け
			施策	3	利便性向上に向けた総合的な交通ネットワークの形成	有
	2	事業開始年度	平成 12 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	道路法・都市計画法			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	当該地域は狭隘な道路が多いが幹線道路への抜け道として通過交通が多く、歩行者等の安全な通行の支障となっている。また、津波避難地域に指定されており、地域の防災上の避難路として、安全・防災等に関する機能を果たすものであり、早期の整備が必要である。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか。)	道路利用者・災害時における避難者・被災者			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか。)	国道26号、府道堺阪南線の慢性的な渋滞を緩和し、生活道路への通過交通を抑制する。また、津波避難の指定地域であることから、緊急車両の通行及び災害時の避難路として、救急、救援活動を支援する機能を高める。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	都市計画決定: 昭和21年5月22日 事業区間: 西区浜寺石津町東～西区浜寺船尾町西 路線延長: L=400m 道路幅員: W=25m 車線数: 2車線 橋梁 1橋(橋長56.0m) 平成30年度は、占有者協議を実施し先行占有者工事を継続推進。事業認可取得に必要な認可図書の作成を実施。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 業務の受注者				

Ⅲ. 投入量

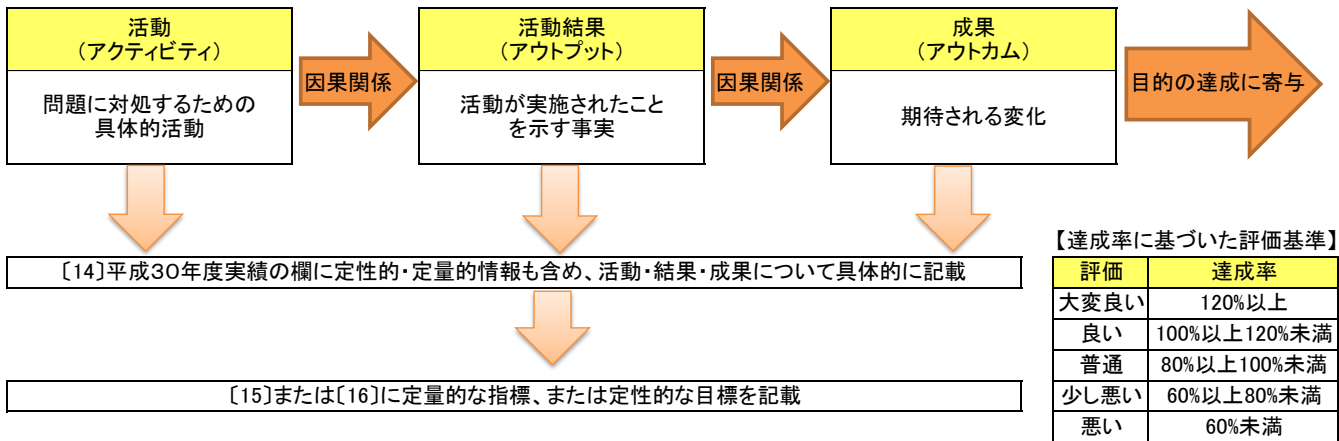
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11 事業費 (a)	千円	9,003	0	292	300	
	主な事業費内訳	工事費	千円	9,003			
		用地費	千円				
		委託費他	千円			292	300
	財源内訳	国・府支出金	千円				
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円	8,100			
		その他()	千円				
	12 人件費 (b)	千円	6,320	5,206	4,946	4,676	
	13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	15,323	5,206	5,238	4,976	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	錦浜寺南町線	シート番号	19-47
-------	--------	-------	-------

≪Ⅳ. 評価(測定・分析)≫

ロジックモデルの考え方



事業の活動内容や成果

平成30年度実績								
活動実績と成果	14	<p>平成12年度から着手している錦浜寺南町線事業について、平成30年度は関係占有者との協議を行い、水道管・石津川耐震護岸工事の継続的な先行実施を推進した。</p> <p>[事業進捗] (工事進捗状況) ○占有者協議を実施し、先行占有者工事を継続推進。 (用地取得状況) ・用地取得率: 100%</p>						
	15	目標						
			道路工事の実施					
			目標に対する実績	関係占有者との協議を行い、水道管・石津川耐震護岸工事の継続的な先行実施を推進				
16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度		
			目標値					
			実績値					
			達成率					
			評価					
		算出方法・設定根拠など						

業績の分析

17	<p style="text-align: center;">目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p> <p>○占有工事との調整を鋭意実施した結果、計画的に道路築造工事を実施することができる状況になった。</p>
----	---

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。